

# 佐伯を犬の先進都市へ 前編

## 佐伯犬祭実行委員長 大津勇人

プロフィール  
大津勇人

大分県大分市出身。  
高校卒業後、福岡へ進学し、専門学校にてA級トリマーの資格を取得する。

その後、師匠として慕う先輩トリマーから、声をかけてもらい

2012年、佐伯市にてDOG SALON 102を開業。

現在では、佐伯海犬隊という愛犬家団体を立ち上げ、毎月行ってる「犬との絆を深めるしつけ教室」や、毎年秋頃に行われる「佐伯犬祭」などさまざまな企画を立てて、人と犬が共生できる街づくりを目指して、奮闘している。

皆様は犬の先進国と言われたらどこの国を思い浮かべられるだろうか？

アメリカ、イギリス、はたまた日本…

一般的に犬の先進国はイギリスやドイツと言われている。そして日本は残念ながら犬の愛護や飼い方に関してはまだまだ発展途上中の後進国と言われている。今回は何故、イギリスやドイツが犬の先進国になりえたのかを日本の犬の歴史と欧州の犬の歴史や飼育方法などを見比べながら今後の日本の犬との暮らし方に向き合っていこうと思う。

## 1. 犬のグループ分け

ご存知の方もいらっしゃるかもしれないが、犬はその生存目的や形態・用途に応じて国際畜犬連盟により①～⑩グループにグループ分けされている。

国によってグループ分けは 若干異なるが今回はジャパンケネルクラブによるグループ分けを載せる。

- ①グループ 牧羊犬・牧畜犬 代表的な犬 ポーダーコーリ
- ②グループ 使役犬 代表的な犬 ミニチュアシュナウザー
- ③グループ テリア 代表的な犬 ジャックラッセルテリア
- ④グループ ダックスフント 代表的な犬 ダックスフント
- ⑤グループ 原始的な犬・スピッツ 代表的な犬 シベリアンハスキー
- ⑥グループ 嗅覚ハウンド 代表的な犬 ビーグル
- ⑦グループ ポインター・セター 代表的な犬 アイリッシュセター
- ⑧グループ 7グループ以外の鳥猟犬 代表的な犬 ゴールデンレトリバー
- ⑨グループ 愛玩犬 代表的な犬 トイプードル
- ⑩グループ 視覚ハウンド 代表的な犬 ボルゾイ



ドイツ原産のダックスフント。獲物が巣穴に入った時にも追いかけるように足を短く改良された。

このようにそれぞれの犬の用途や能力や役割に応じてグループ分けされているのだが、国際畜犬連盟に登録されている日本原産犬の柴犬・紀州犬・甲斐犬・秋田犬・北海道犬・四国犬などはすべての5グループの原始的な犬・スピッツ(鼻先が尖っている)タイプに属しており、その6犬種の役割や用途も家庭犬と表記されている。

(実際には猟犬として活躍している犬もいるが)

そして、その6犬種の風貌も立ち耳、ダブルコート、巻き尾でどれも似ている。一方イギリス原産の犬は60種以上おり嗅覚ハウンド、視覚ハウンド、テリア、ポインター・セター愛玩犬など容姿や用途も多岐に渡る。また、ドイツの代表的な犬種でもダックスフント、ミニチュアシュナウザー、シェパードなど姿も役割も様々だ。一方前述した通り日本原産の日本犬(土佐犬や日本スピッツなどは洋犬の血が混ざっているなのでここでは除く)はそのすべてが第5グループの原始的な犬・スピッツタイプに分類される。では、なぜこれほどまでに欧州各国と日本の犬に対するブリーディングに意識の差があるのかを考察してみる。



各国で行われているドッグショー。それぞれの犬種がスタンダードから逸脱するのを防ぎ犬種の保存を目的とする。

まず、日本は古来から獣肉を食べることが禁忌されており猟を生業にする人が少なかったこと、また欧州のように室内犬を飼うことが上流階級のステータスだったわけでもなかったため、新しく犬の能力を開発するためのブリーディングが行われず、結果的に日本犬というジャンルを作る際にそれぞれの地域に残っていた土着犬を日本原産の犬として種の保存をしたといわれている。その点で海外の犬は犬種名自体が目的をもつてつくられた犬であることを証明している。例をあげると

レトリバー…撃たれた獲物を探して持ってくるように訓練された猟犬のことを意味する。

ハウンド…猟犬のことでイギリスでは特に狐狩り用のフォックスハウンドのことを意味する。

ダックスフント…ドイツ語のアナグマを表すダックス(Dachs)と、犬を表すフント(Hund)を合わせた「アナグマ犬」を意味する。

これらの犬種名の由来だけでも犬種名が狩猟から由来していることが理解していただけるだろう。

ちなみに日本原産の柴犬の「柴」には由来が諸説あり

- ・柴藪を巧みにくぐり抜けて猟を助けることから
  - ・赤褐色の経路が枯れ柴に似ている(柴赤)ことから
  - ・小さなものを表す古語の「柴」から
- などはっきりした理由はわかっていない。

全ての柴犬の血統をさかのぼっていくと「中号」という一頭の犬にたどり着く。今では日本の代表犬だが戦後に絶滅しかけた過去を持つ。



## 2. 犬の血統の管理団体の出現と法律の制定

さて、上記のような犬の種の保存をするためには血統書などを作り管理する団体が必要になってくるのだが世界で初めて犬の純血種の保存が目的で作られたイギリスケネルクラブの設立が1873年。一方、日本の純血種の6犬種の保存のために作られた日本犬保存会の設立は1928年とこの時点で既にイギリスと55年の遅れがある。さらに世界の畜犬団体である国際畜犬連盟(FCI)は1911年に設立。それに対して日本の畜犬団体ジャパンケネルクラブは、1949年に設立。さらに国際畜犬連盟(FCI)への正式加盟が1979年と大幅に後れを取っている。

それと同様に動物愛護の観点でも大きく後れを取っており例えば動物愛護の先進国であるイギリスでは

1822年「マーチン法」制定。家畜の残酷で不適當使用を禁止する法律  
1876年「動物虐待禁止法」制定

1911年「動物保護法」制定

1951年「ペット動物法」制定

ペットショップの経営を認可制にし、改正後には街頭や公共の場でのペット販売が全面的に禁止された。日本がまだ鎖国していた江戸時代後期のころにはイギリスでは動物に苦痛を与えないために法律を作り動物を保護する動きが出ており、その時点で100年以上の遅れをとっている。そのかわりにイギリスでは、闘犬やドッグレースなど犬を駆使する賭け事が古くから盛んだった過去を通してきたわけだが。

ちなみに、日本の動物愛護法は1973年に制定されている。そして、最近行われた動物愛護法の改正でようやく…

・20時以降の展示を禁止

・インターネット販売では現物確認、対面説明と販売の義務付け

・生後56日未満の販売禁止

と厳しくなってきたが、未だに狭い空間に大量に犬を飼い、まるで繁殖工場のようにになっている繁殖屋も存在する。しかし、まだまだ法的拘束力が弱いので全てを取り締まることはできないので今後も愛護法の改正が望まれる現状だ。



犬が古くから人と共生してきた伴侶だったことは昔の絵画からも垣間見ることが出来る。

## 3. イギリスやドイツが犬の先進国になった理由

イギリスやドイツでの畜犬団体の設立や動物愛護の法の成立が早かったというもあるが、他にもなぜ欧州が犬の先進国に成り得たかという点、昔から狩猟を趣味の一部として行われており猟犬という存在が必要不可欠だったということや、インターホンがない時代に来客者を知らせるベルドッグとして室内犬を可愛がる文化が古くから根付いていたことなど、そういった日々の暮らしの面で犬が必要不可欠な伴侶だったため、犬に対する愛護の意識が長い年月をかけて培われたように考えられる。日本でも日本犬が番犬として使われていたし、座敷犬として狎(チン)が飼われていたようだが、やはり欧州に比べるとその実用性や重要性はあまりなかったように思える。しかし、近年のペットブームにより日本はペット大国となり、家族同然に扱う飼い主も増えてきている。だが欧州との100年ほどの犬の歴史の遅れをすぐに追いつけるほど犬に対する考え方や意識が成熟していないのも事実である。近年は日本も動物愛護の精神が高まり犬の立場もイギリスやドイツ

に近づきつつはあるが数年前まで犬小屋で鎖に繋がれているのが普通だった日本と、イギリスやドイツの犬の考え方の違いを表すと

日本＝ペット 愛玩動物、もしくは愛玩を目的として飼育される動物を指す言葉。  
一方的に動物の飼育をしているイメージ

イギリス・ドイツ＝コンパニオンアニマル 伴侶動物

もしくは生活を共にする伴侶として、より密接な関係を人間と持つ動物を指す言葉。  
家族や仲間というイメージ

の違いがあったのではないかと考えられる。



ドイツ原産のシェパード。非常に賢く昔から軍用犬や警察犬として重宝されていた。

最後になるが犬の歴史を知ることとはとても重要なことだと思っている。もしこれから犬を飼いたいと思っている方がいれば、その容姿の可愛さだけで選ぶのではなくしっかりその犬の成り立ちや歴史に触れ本当に自分のライフスタイルに合う飼いやすい犬なのか少し考えてみてほしい。例えば美容面ではトイプードルやシュナウザー、マルチーズなどのカットが必要な犬種は毛が抜けにくい代わりにトリミングをしないと毛が伸びつづけば不衛生になってしまうので美容にお金のかかる犬種だし、自分でもシャンプーができて比較的美容にお金のかからないチワワや柴犬、フレンチブルドッグはカット犬とは逆に毛が抜けるのでどちらにも長所と短所があること、性格面ではジャックラッセルテリアなどの適度な運動が必要な犬はインドア派には向かないこと、ダックスフントやポメラニアンは警戒心が強く吠える個体が多いことなど、それぞれの犬種の体系や毛量、性格や気質はそうなるべくして作られた歴史があることをちゃんと知ってから自分にあった犬を選択してほしいと思う。自分のライフスタイルに合った犬を選択できればこれからの人生が充実したものとなるはずである。

今回は今回の分では書ききれなかったドイツの犬に関する法律やマナーを参考にして続きを書きたいと思う。

参考文献

- ・それでもイギリス人は犬が好き～女王陛下きらならず者まで～
- ・ドイツの犬はなぜ吠えない？
- ・犬の日本史～人間とともに歩んだ一万年の物語～

# 佐伯犬祭

southern oita, saiki dog festival